

2025年12月21日

YACかわら版 656

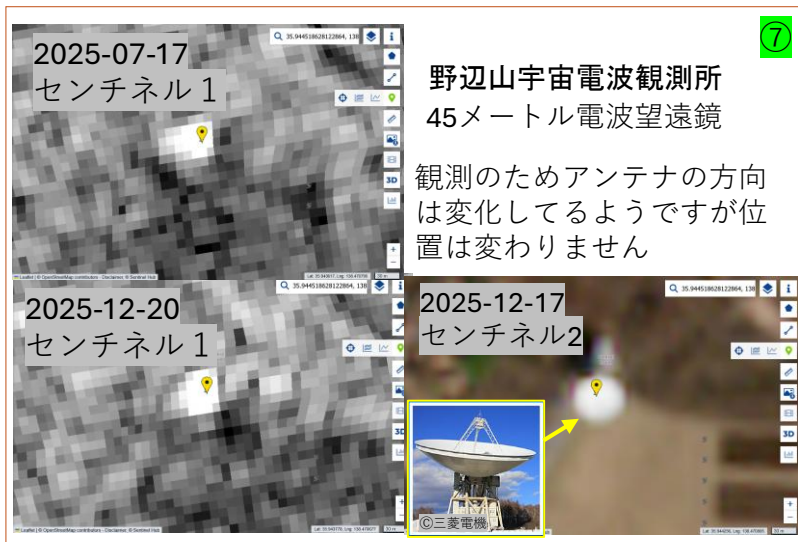
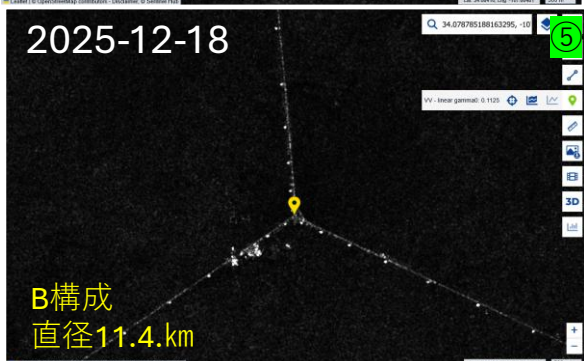
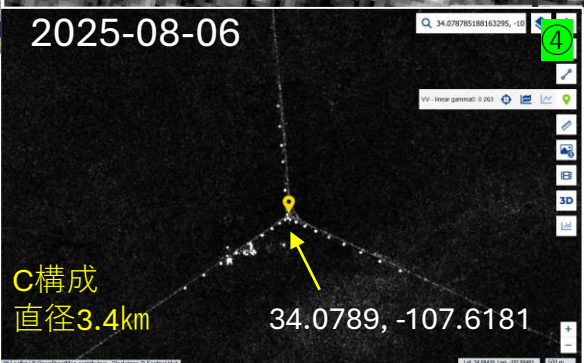
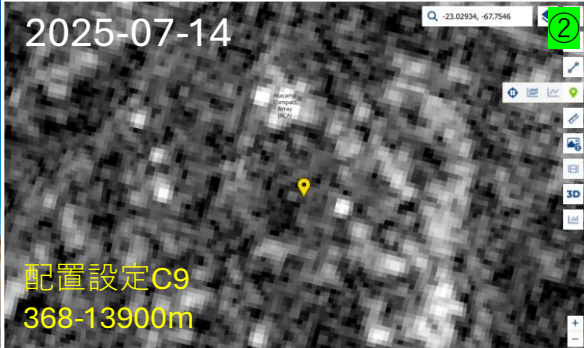
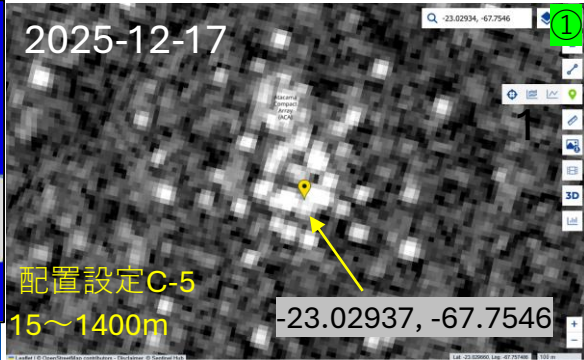
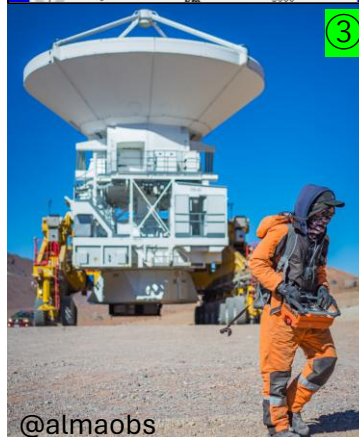
移動するパラボラアンテナ

お友達が来月のコズミックカレッジを楽しみにしています。国立天文台アルマプロジェクトの「電波で探る宇宙のふしぎ」の予習をしています。

5月の分団活動でチャレンジしたコペルニクスブラウザをお家の方と使って調べています。お父さんのすすめでセンチネル1データでアルマ天文台を調べてみると早速「おや」を発見しました。輝いている場所の位置が変わっています。直径12mのアンテナ54台、7mアンテナ12台が5000mの高地にあり、観測計画にしたがってアンテナの配置がかわっているようです。なぜ動いているのか不思議です。服装も不思議です。 ①②③

アルマ天文台の仲間のアメリカのカール・ジャンスキー超大型干渉電波望遠鏡群（VLA）も調べてみました、ここは平地に広くY字型に直径25mのアンテナが27基並んでいます。ここも配置を変える目的は何でしょうか？ ④⑤⑥

③と⑥はどれくらいの重さがあるのでしょうか。興味があります。コズミックカレッジでの活動や講師の方の説明が楽しみです。



佐久市にはJAXAの臼田宇宙空間観測所があります。直径64mのパラボラアンテナがあります。調べてみませんか。
位置情報 36.1331, 138.3620